

緑化だより

No.117 平成28年6月号



ハイカツツジ

- 季節の花(コアジサイ)
- 野鳥の世界(サンコウチョウ)
- 昆虫の話(雨降りのあとに)
- 研修会のご案内
- 展示会
- お知らせ・ご案内

緑化の未来

広島県緑化センター・広島県立広島緑化植物公園

〒732-0036 広島市東区福田町 10166-2

TEL 082-899-2811 FAX 082-899-2843

URL <http://ryokka-c.jp> E-mail hiroshima@ryokka-c.jp



季節の花

コアジサイ

「紫陽花(あぢさゐ)の八重咲く如くやつ代にをいませわが背子見つ思(しの)はむ」
(アジサイを見るたびに、あなたを偲んでいます。いつまでも元気でいてください)
橘諸兄(たちばなのもろえ) 万葉集 巻20:4448

梅雨の合間、ひんやりとした風に誘われて、そま道に入ると、木漏れ日のある谷間にかすかに香りがただよってきます。山際に清楚で愛らしい青紫色の花が咲いています。ひっそりと咲く姿はどことなく趣があります。コアジサイ(小紫陽花)(ユキノシタ科)です。別名はシバアジサイ(柴紫陽花)。

高さ1~2mの落葉低木で、アジサイ属の特徴である装飾花はなく、すべて両性花(雄しべ、雌しべ、花びらからなる花)が集まった径5cmぐらいの小さな花のかたまりです。園芸種のアジサイやヤマアジサイより1か月早く咲きます。果実(さく果)は9~10月頃熟して、0.5mmほどの小さい種子が散布されます。葉は卵形で、縁には大きな鋸歯が



コアジサイ

あり、向かい合って(対生)ついています。分類体系によっては、ユキノシタ科から分けて、ウツギなどとともアジサイ科とされています。アジサイ属は東アジアと南北アメリカに約35種があり、日本には約11種が自生しています。

アジサイという名の由来は「集真藍」(あづさあゐ)で「あづ」は「集まる」、「さあゐ」は「真っ青」で、真っ青な花が集まっている様子からと言われています。アジサイは万葉の時代から人々に愛でられていたようで、なんとも風情のある日本を代表する植物です。緑化センターには、コアジサイのほかヤマアジサイ、コガクウツギ、ノリウツギ、ツルアジサイが自生しています。(上村)

野鳥の世界

サンコウチョウ

鳴き声も姿も優美なサンコウチョウは野鳥ファンならずとも興味の対象になっています。

サクラが過ぎ、フジ、ツツジやキリの花が咲く頃になるとオオルリ、キビタキに続き渡ってきます。“ツキ(月)ヒ(日)・ホシ(星)・ホイ・ホイ・ホイ”とつづれ鳴きする声は間違いなくサンコウチョウです。

スギ、ヒノキなどが茂った暗い雑木林を好むようで、常時暗さの中で活動しますが、眼の周りの蛍光色の外輪は、暗い場所で有効なようです。雄鳥の尾羽根は30cmと特別に長く、飛行中の羽虫を捕捉する時も体をヒラヒラさせ、他



サンコウチョウの雄鳥と雛鳥

の野鳥にはない優美な動きを見せてくれます。テリトリーを定めた雄鳥は鳴いて雌鳥を呼び寄せ、聞きつけてやってきた雌鳥と共同で巣作りと子育てを始めます。この時期は最も鳴き交わし、3, 4 個生んだ卵の抱卵や育雛も、雄雌交代で忙しく休む間もなく給餌します。

雛鳥は体が大きくなると、巣の中に納まりきれず巣の際に立って給餌を受けますが、少しでも早く餌をもらおうと、まだ満足に飛べないのに巣を離れて近くの枝に移り、枝から落下することもあります。親鳥はそのたびに餌を持って雛鳥に近づき、餌で誘って少しでも高い枝に連れてゆきます。1 週間もすれば親鳥を追って自分で餌も食べ、長い渡りに備えて体力をつけます。(吉見)

昆虫の話

雨降りのあとに

6 月は梅雨、長い雨が降り続き、ちょっと嫌になる季節です。ふと地面に目を落とすと、くぼみに水たまりができています。皆さんはそんな水たまりでも昆虫が集まることを知っていましたか。

出来たてはやほや？の水たまりにいる虫といえば「アメンボ」です。細長い体と脚、なんといっても水面を「すいー」と滑るように移動する姿が印象的な昆虫です。有名な昆虫ですが翅を持ち、空を飛んで水たまりまでやってくることはあまり知られていません。

アメンボが水面に浮いている事を不思議に思いませんか。その理由は脚の先にあります。アメンボの脚先には目には見えないほど細かい毛がたくさん生えています。この毛には油がついており、周りの水を弾きます。アメンボはこの弾かれた水がもとに戻ろうとする「表面張力」を使って浮いているのです。

さて、皆さんはアメンボの名前の由来を知っていますか？雨のあとに見られることから「雨ん坊」が語源という訳ではないようです。アメンボを漢字で書くと「飴ん坊」！どうして飴なのでしょう。アメンボを捕まえると砂糖が焦げたような甘いにおいを出します。このにおいが昔の飴のにおいに似ていることから「飴ん坊」となったという説が有力なようです。皆さんはにおいを出す昆虫に心当たりがありませんか。実はアメンボはあの臭いにおいを出す「カメムシ」のなかまなのです。

皆さんも雨があがった時にはぜひ水たまりをのぞいてみてください。水たまりが大好きな昆虫との出会いがあるかもしれません。(広島市森林公園こんちゅう館 藤井)



アメンボ

研修会のご案内

- 6月 2日(木) 『庭木の手入れ』
剪定の基本と松の緑摘みを学びましょう
※剪定ばさみ持参
10:00~12:00 学習室 集合
講師：NPO法人 樹木医ひろしま
工藤 徹
- 6月 11日(土) 『6月の自然探勝』
森林が環境を守るしくみを見つけましょう
10:00~12:00 管理事務所前 集合
講師：森林植物研究家
埴田 宏
- 6月 12日(日) 『気象の世界を
のぞいてみよう』
天気は秘密を知るともっと面白くなります
10:00~12:00 学習室 集合
講師：NHK 放送局気象キャスター
伊藤 麻衣
- 6月 21日(火) 『絵下山自然観察会』
ヤマグルマとギフチョウの食草について…
※ 要予約(先着 20名)、6月 18日〆切
10:00~12:00 絵下山駐車場 集合
講師：環境省希少野生動植物種
保存推進員
吉野 由紀夫
- 6月 30日(木) 『平和大通り
きのこウォッチング』
歩きながらきのこウォッチング
※ 要予約(先着 20名)、定員に達したため締切りました。
10:00~12:00 平和の時計塔前 集合
講師：きのこアドバイザー
川上 嘉章

◎ 展示会

場所:レストハウス

(ガラスケース展示)

・手作り小物作品展

6月 15日(水)~7月 20日(水)

(ボード展示)

・ボタニカルアート展

6月 8日(水)~7月 8日(金)

♪☆お知らせ・ご案内☆♪

~ひろしま「山の日」県民の集い~

6月 5日(日) 10:00~15:00

ノルディック・ウォーク体験会(雨天中止),
草花販売, 木片工作・しおり作り, 除伐体験
丸太切り, ネイチャーゲームなど

~卓球できます!~

卓球台設置(一面)しました。

ラケット、ボール無料貸出しあり

(詳細は管理事務所まで)



過去の手作り小物作品展より



昨年のボタニカルアート展より